Festina lente

好天の下行われた強歩大会のようす 2017. 2. 13

第32期生徒会 無限の可能性 ～自由と自制の岩田に～	1
いじめ防止基本方針① 校長 柳井 修	2
いじめ防止基本方針② 対応組織図	3
生徒会総会議案書① 生徒会 坂井 学人	4
生徒会総会議案書②	5
1～2月 部活動の報告 APUコース 活動報告	6
生徒指導部より 指導主任 阿部順三 強歩大会を実施 体育科 上久保 晃 保健室より 養護教諭 野村めぐみ	7
留学生のご紹介	8

（生徒総会の様子）

第32期生徒会　無限の可能性 ～自由と自制の岩田に～

新生徒会役員による、今後の意気込み・抱負をご紹介します。

【生徒会長　久保 我生】
共に頑張りましょう。

【副会長　甲斐 央一朗】
先輩方がつないで下さったバトンを、みなさんの声と共にゴールまで持って行きます。一年間よろしくお願いします。

【副会長　髙野 周】
どれだけつらくても、どれだけ切羽詰まっても、Just run。岩田の生徒皆を楽しくいられるように走り続けるだけです。そして、僕らも、楽しんで執行部をやっていきます。Be a legend by just running. 一年間よろしくお願いします。

【庶務　後藤 和未】
岩田生の皆さんが充実した学園生活を送れるように各専門委員会と共に頑張っていきます。１年間よろしくお願いします。

【庶務　廣田 真夕子】
自由且つ秩序ある岩田になれるよう、最善を尽くしていきたいと思います。常に努力する執行部であれるよう頑張ります。

【文化委員会　白石 有沙・岩本 勇樹】
より充実した学園生活になるように精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

【体育委員会　吉岡 菜々子・阿部 功太郎】
体育大会が５月になり、これから忙しくなると思いますが、やるべきことはしっかりやって、全力で頑張ります！１年間よろしくお願いします。

【美化委員会　才 愛奈・西川友胡】
皆さんと協力してより美しい岩田を目指して頑張ります。よろしくお願いします。

【図書委員会　幡手 櫻子・川島 千穂子】
もっと過ごしやすく、気軽に立ち寄ろうと思えるような図書室を作っていきます。一年間よろしくお願いします。

【広報委員会　中島 凜花・井上 悠輝】
皆さんに様々な情報を届けます。１年間よろしくお願いします。

【保健委員会　平川 龍一・首藤 優奈】
皆さんに様々な情報を届けます。１年間よろしくお願いします。

【ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ委員会 福田 陽友・松本 真季】
皆さんの協力があって出来る事がボランティアです。様々な活動を通して、皆でボランティアの軸を広げていきましょう。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★★☆★

２月１９日に行われた生徒総会の議案書を４～５ページに掲載しています。併せてご覧下さい。

「いじめ防止基本方針」と対応組織図について

校長　柳井 修

１．目的

　この基本方針は、本校におけるいじめ防止に係る基本理念および責務を明らかにするとともに、いじめ防止および解決を図るための基本となる事項を定めることにより、生徒が安心して生活し、学ぶことができる環境をつくることを目的とする。

２．基本理念

（１）本校の教育方針である「社会に有為な人材の育成」「きめ細かく、一人ひとりを大切にする教育」「自ら学ぶ姿勢を示す意欲的な人材の育成」「公平と正義を重んじ、礼儀やマナーなどの躾を保護者と共に考える教育」を実践し、楽しく安心して中学･高校生活を送り、お互いの人格と権利を尊重する成熟した社会人へと成長できる環境作りの一環として、主体的にいじめ問題に取り組む。

（２）本校は、日々の教育活動を通して、いじめが人間の尊厳を踏みにじり、基本的人権を侵害する行為であることを生徒に理解させると共に、いじめは人間として絶対に許されるべき行為ではないとの強い認識を持たせることに努める。

３．「思いやりや助け合いの心を持って行動できる」生徒を育てる取り組み

（１）人権教育の推進

　本校の教育の方針に基づく日々の教育活動をはじめ、各教科の授業、生徒会活動、ボランティア活動、総合的な学習の時間、ホームルーム活動、人権講演会、学校行事等に人権教育の視点を位置づけ、いのちの大切さを理解すると共に、他者を認めやさしい配慮ができる生徒の育成をする。

（２）体験活動の推進

　様々な学校行事と本校が従来推進してきたボランティア活動などを通して、生徒同士がお互いをよく知ると共に、相互扶助の心を育成する。

（３）特別活動の充実

　集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を構築する力を育むことを目的として、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、キャリア教育、その他の学校行事の指導の充実を図る。

４．いじめの未然防止のための取組み

（１）授業改善

　研究授業、教員研修、授業評価アンケート等を通して、生徒にとって楽しくてわかる授業の実践に努め、生徒の学ぶ意欲と自己有用感を高める。

（２）教育相談体制の充実

　朝終礼、ホームルーム活動、授業等において、担任および教科担当者が生徒の小さな変化にも気づくことができるよう常に細心の注意を払う努力をする。また、定期的にクラス担任は個別面談を行い、人間関係での悩み等を聞き取ると同時に、養護教諭や人権学習主任との連携協力を図り、適切な助言やクラス全体への働きかけができるよう努める。

（３）いじめの起きない学校風土づくり

　いじめは人間として絶対に許されないことを日々の学校生活を通して訴え続け、生徒が安心して学校生活を送れる環境作りに努める。

（４）生徒への啓発

　いじめに関する注意喚起を機会あるごとに行うと同時に、生徒会を中心として生徒自らがいじめは絶対に許されない行為であるという意識を高める活動を推進していく。また、生徒だけではなく保護者にもSNS等インターネット上でのいじめに関する現状と対策について外部講師による講演会を実施していじめ防止への理解と協力を求める。

（５）コミュニケーション能力の育成
(アサーティブな対応ができる生徒を育てる。)

　「相手のことを思いやる大切さ」、「自分の気持ちを伝える大切さ」を認め、それを行動化できる生徒を育成することを人権教育の目標に掲げる。

５．いじめの早期発見のための取組み

（１）積極的ないじめの認知

　朝終礼、ホームルーム活動、授業等で生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察すると共に、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、教育相談や養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら積極的にいじめを認知するよう努める。

（２）自己チェックシステムの活用

　生徒が定期的に自分の生活を振り返るための自己チェックを行い、それをクラス担任が確認することにより、いじめ等の早期発見に努める。

（３）アンケートの実施

　定期的にいじめ等の実態調査を行い、問題の早期発見に努める。

（４）保護者との連携

　日頃から担任と保護者との連絡を密に行い、保護者がどんな些細なことでも担任に相談できる環境作りに努める。また、量販店や駅などの関係機関との連携を進め、地域での生徒の様子を把握する。さらに、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーと相談できる旨を周知し、問題の早期解決を図る。

（５）外部機関との連携

　大分中央警察署や大分県こころとからだの相談支援センター等の外部機関と定期的に情報交換する中で、学校外におけるいじめ等問題行動の早期発見に努める。

６．いじめの早期解決に向けた取組み

（１）組織的対応

　特定の教職員で抱え込まず、学年・コース主任をはじめ必要ならば教頭や養護教諭とも速やかに情報を共有しながら問題解決を図る。「いじめ対応サポート班」を立ち上げた場合は、班員で協議を重ね問題解決に向けて計画の立案と適切な対応により、被害生徒を守り通す。一方、加害生徒に対しては教育的配慮の下、毅然とした態度で指導に当たる。

（２）被害生徒・加害生徒への迅速な対応

　複数の関係者からの情報収集および事実確認をした上で、被害生徒の安全を最優先に考え、加害生徒に対しては毅然とした態度で指導に当たる。

　被害生徒に対して、継続的なカウンセリングを行うなどメンタル面のサポートを十分に行い、一日も早く安心して学校生活を送れるように努める。

　加害生徒に対して、いじめに至った背景等をカウンセリング等により聞き取り、本生徒の立ち直りと再発防止に努める。

（３）保護者との連携

　被害生徒および加害生徒の保護者に対して、家庭訪問等によりいじめの状況と今後の対応について十分な説明を行い、理解と指導についての協力を得る。

（4）外部機関との連携

必要に応じて、大分中央警察署や大分県心とからだの相談支援センター等の外部機関と連携を取りながら早期解決に向けた最善の方法を講じる。犯罪行為として取り扱われるべき事案については、学校法人および大分中央警察署等と連携して対処する。また、必要に応じて大分地方法務局や大分県中央児童相談所と連携を取りながら、いじめの被害者や加害者への適切な対応について教示を得る。

7．いじめ問題に取り組むための校内組織

（1）いじめ対策委員会

いじめを未然に防ぐための指導方法や対策を協議するために、次の機能を担う「いじめ対策委員会」を設置し、必要に応じて開催する。

（構成員）

校長、教頭、生徒指導主任、人権学習主任、寮監長、学年主任、養護教諭

（活動）

- いじめ問題対応の年間計画の作成
- 校内のいじめの現状把握と指導方針
- 対策の決定 ・学校におけるいじめ問題への取組みの点検

（2）いじめ対応サポート班

いじめが起きた時、次の機能を担う「いじめ対応サポート班」を設置し、いじめの早期解決に向けた取組みを行う。

（構成員）

生徒指導主任、人権学習主任、養護教諭、スクールカウンセラー、当該学年主任、当該学級担任、当該教科担任、当該部活動顧問等

（活動）

- 当該いじめ事案の対応方針の決定
- 当該いじめ事案の対応経過確認および対応方針の修正

8．重大事態への対処

生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあるときは、次の対処を行う。

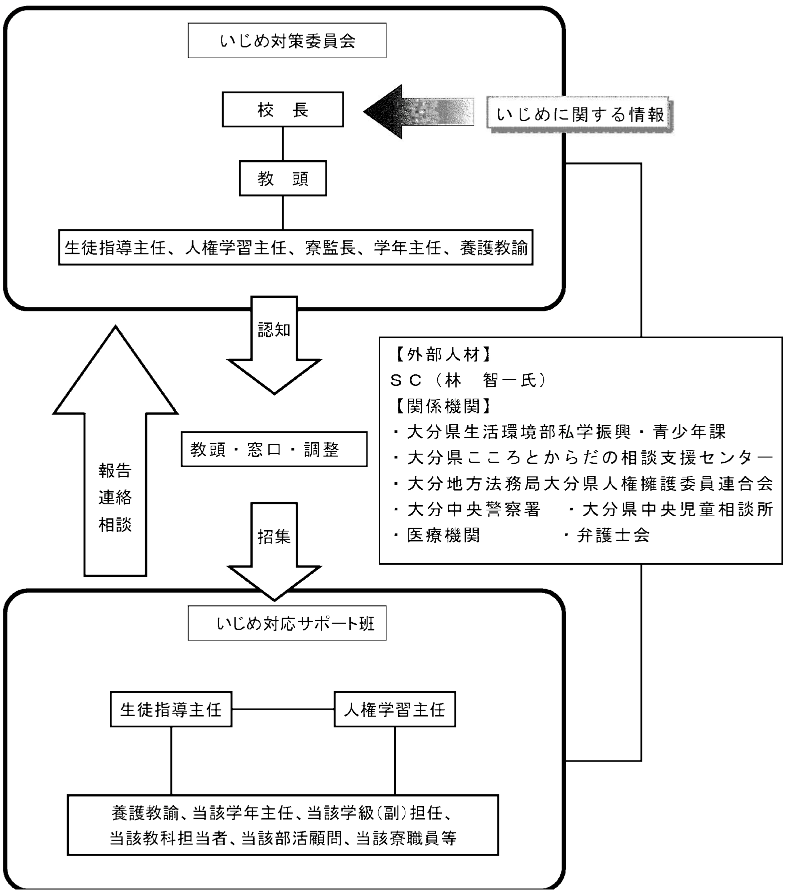
（1）重大事態が発生した旨を学校法人および大分県生活環境部私学振興・青少年課を通じて知事に速やかに報告する。

（2）学校いじめ調査委員会が行う事実関係を明確にするための調査に協力する。

9．学校評価における留意事項等

毎年実施している保護者アンケートにいじめ問題に適正に対処しているか学校評価を行う項目に加え、本校の取組みを評価する。

岩田中学校･高等学校　いじめ問題対応組織図



【チェックシート１】

１ いじめられている生徒のサイン

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員の目で多くの場面で生徒を観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場面	サイン
登校時 朝のＳＨＲ	□遅刻・欠席が増え、理由を明確に言わない □教員と視線を合わせず、うつむいている □体調不良を訴える □提出物を忘れたり、期限に遅れる □担任が教室に入室後、遅れて入室してくる
授業中	□保健室・トイレに行くようになる □教材等の忘れ物が目立つ □机周りが散乱している □決められた座席と異なる席に着いている □教科書・ノートに汚れがある □突然個人名が出される
休み時間等	□弁当にいたずらをされる □昼食を教室の自分の席で食べない □用のない場所にいることが多い □ふざけ合っているが表情がさえない □衣服が汚れていたりしている □一人で清掃している
放課後等	□慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている □持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされる □一人で部活動の準備、片付けをしている

２ いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
□教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている
□ある生徒にだけ、周囲が異常に気を遣っている
□教員が近づくと、不自然に分散したりする
□自己中心的な行動が目立ち、ボス的存在の生徒がいる

新執行部による生徒総会議案書　～2月17日(金)に生徒総会が開催されました！～

毎年、本校の生徒総会は2月に、仮卒で不在の高3をのぞく中1～高2の生徒で行われます。

11月の会長選挙を経て新生徒会が発足し、総会で今後1年の活動について、各委員会からの議案が説明→審議→承認されます。

また、各委員会の提案内容については、総会で承認され、その後、学校運営上において問題がないものが実施されます。

執行部を中心に昼休みや放課後を使って、一生懸命取り組んだ初仕事になります。総会ではいろんな質問や意見が出ますが、今後の活動にいかしてほしいと思います。

◇執行委員会

【生徒会長】久保 我生
【副会長】甲斐 央一朗　・　高野 周
【庶務】後藤 和未　・　廣田 真夕子
〈総目標〉**無限の可能性 ～自由と自制の岩田へ～**
〈活動内容〉

1．学園祭の企画・運営
　後夜祭の実施
　→学園祭実施期間の短縮にあたってのイベントの充実化
　模擬店の規制の再考
　→より多くの生徒が出店しやすくし、活発化を図る
2．グラウンド及び自転車置き場のライト設置
　→18時前後の部活動、また同時刻の下校の際の安全確保
3．体育館の空調設備
　→体育館内での熱中症などの事故を防ぐ
4．購買のメニューの充実化
　→昼食を購買で済ませる人の偏食を防ぐ
5．文房具の販売
　→突然文具が切れた際にも授業が受やすく、以前販売したが売れなかったシャーペンなどではなく、ルーズリーフやノートなどを中心に販売
6．自動販売機について
　１号館前の設置
　→１号館のみ自動販売機から遠い為朝の利用許可
　→水分を持ってくるのを忘れた人でも水分補給ができるよう
7．各教室の収納スペースの充実
　→教室の清潔感を保つ
8．生活委員の発足
　→自由の為の最低限のルール作り　現中３以上からの導入のため、副委員長は２名とする
9．定期連絡を兼ねた生徒会への要望アンケート
　→生徒全員の意見を取り入れる。生徒会の活動を分かりやすくする
10．中学１・２年生から自転車通学の許可
　→公共交通機関の遅延による遅刻を防ぐ。　事故防止のため１・２年はヘルメット着用
11．テスト期間の教室開放の時間延長
　→学力向上を図る
12．授業中のセーターの着用許可
13．生徒会会則の変更

◇美化委員会

【委員長】才 愛奈
【副委員長】西川 友胡
〈総目標〉**清く美しく**

1．美化コンクール
　⇒学期に１回実施する。
　・採点は昨年通り委員長と副委員長で行う。
2．掃除時間中の見回り
　⇒学期に２回実施する。
　・採点は５年の美化委員で抜き打ちで行う。
　※１、２⇒採点基準は後日教室掲示をする。
　　結果を元に生徒会賞の評価に加点する。
3．ゴミ捨て
　⇒ゴミの分別表作成
　・学期の始めに、教室掲示をする。
　⇒ゴミ箱が足りていないところの補充。
4．ボランティア清掃
　⇒学期に２回実施する。
　・ボランティア委員会と協力して行う。
　・各クラスの美化・ボランティア委員を招集し、学校周辺の地域のゴミ拾いをする。
5．その他
　①掃除道具の点検
　・生徒会合同で行うアンケートに各クラスに必要な用具の希望を取り、委員長と副委員長で確認をして学校と交渉。
　・外掃除の道具を２ヶ月に１回、委員長と副委員長で点検する。
　②月に１回、各クラスの美化委員がゴミステーションの手伝いをする。
　③各学期の終業式の日に各クラスの美化委員が自分のクラスのゴミ箱の清掃。

◇文化委員会

【委員長】白石 有沙
【副委員長】岩本 勇樹
〈総目標〉**文化で自分を強化**

1．ベルマーク収集
　・１学期のベルマーク収集結果をもとに、学園祭の総合評価で加点する。
　※ベルマークボックスではなく、各クラスの文化委員に事前に専用の回収ボックスを渡します。
　・２～３学期は各場所に置いたベルマークボックスで回収する。
　※ベルマークボックスの場所は後日、教室掲示します。
　・インクカートリッジはベルマークの点数扱いとなるので、文化委員会で回収する。
　・ベルマークの収集結果を各学期に１回、教室掲示する。

2．映画鑑賞会
　・各学期に１回行う。
　・上映する映画は文化委員で話し合い、決定する。
3．季節に応じた文化的活動
　・(例)夏→七夕
　全校生徒に短冊とかざりを作ってもらい、竹につるす。
4．学園祭で生徒会賞を設ける
　・文化委員会(ベルマーク収集)，美化委員会(美化コンクール)，図書委員会(図書館ウィーク)の点数をもとに、学園祭で表彰する。

◇体育委員会

【委員長】吉岡　菜々子
【副委員長】阿部　功太郎
〈総目標〉**情熱たいいく**

1．体育大会の企画・運営
2．クラスマッチの企画・運営
3．授業用ビブスの洗濯
　⇒夏１週間に１回　冬２週間に１回
4．体育倉庫の掃除・点検
　⇒月１回行う。（体育で使用する道具の管理や掃除）
5．昼休みの体育館の見回り
　⇒高1・高2（現中３・高1）の体育委員で行う。
　利用状況が悪い人は使用禁止に。

⇒詳細は後日連絡。
6．強歩大会の運営サポート
7．スポーツテストの運営サポート

◇保健委員会

【委員長】平川 龍一
【副委員長】首藤 優奈
〈総目標〉**笑顔いっぱい、元気100倍!!**

1．冷水機の掃除
⇒月１回、各クラスの保健委員で実施。
2．消毒液・液体石鹸の補充（消毒液は月１回、液体石鹸は月2回）
※固体石鹸から液体石鹸に変えてもらえるように学校側と交渉します。
⇒各委員が初めて仕事をする時には、委員長か副委員長が付いてサポートする。
校内掲示板への保健だよりの掲載。
⇒毎学期の保健行事の連絡を掲載し、生徒に保健に関する情報を提供。作成者は委員長と副委員長。毎学期に１回。
全校朝礼など生徒が一度に同じ場所に集まる際に、入り口に消毒液を準備
⇒病気の蔓延を防ぐ。
※強制はしない。
5．体育行事時の爪切りチェック（体育大会やクラスマッチなどの朝礼時）
①朝礼時に各クラス保健委員が実施。
②切っていなかった人を保健委員が確認し、職員室へ爪を切りに行ってもらう。
・勧告を受けた人はすぐに職員室に切りに行く。
・使用前は各学年団に使用許可をもらい，消毒液をつけて使用する。
③切り終わったら保健委員に報告。
※チェックはしないが、保体の授業時、爪による怪我が増えているのでなるべく切る。
6．保健に関する呼び掛けポスターの設置（手洗い、うがい、換気、昼の歯磨きなどについて）
⇒季節に合わせて発行。各学年の保健委員で作成。
7．保健行事（身体測定など）での準備と片付けの手伝い
8．体育大会・クラスマッチでの救護活動と注意喚起
9．健康観察の実施
・毎朝各クラスの保健委員が実施。
10．空気清浄機の洗浄（毎学期に１回）
⇒掃除の仕方は、招集して伝えます。

◇図書委員会

【委員長】幡手 櫻子
【副委員長】川島 千穂子
〈総目標〉**晴読雨読**

1．本の整理
⇒ 昨年の図書室移動により、乱れた本の配置の整理や劣化の激しい本の処分を休館の期間を設け、図書委員で協力して行う。
2．マップの作成
⇒ どのような系統の本がどこにあるか、分かりやすく示し、図書室に掲示する。
→利用者がより簡単に本を見つけられるようにするため。
3．図書室の管理
⇒ 規則を破った者には相応の対応を取る。
4．本の無料配布
⇒ 図書室の本の中には同じ本が重複している物で図書委員会が不要と判断した本に関しては無料配布を行う。
→樟葉にてお知らせ
5．『樟葉』の発行（図書便り）
⇒ 不定期
6．図書館寄贈BOXの設置
⇒ 寄贈してほしい本にリストを樟葉に掲載し、寄贈を呼びかける。
貸出リクエストの多い本の中で、要望に答えられなかった本を募集。
→リクエストは図書館内にあるリクエストBOXで集める。
7．スポーツ雑誌の付録を月一回配布する。
⇒ 広報委員会が発行するlineにて連絡する。
8．図書館ウィークの開催
⇒ 図書館利用者を増やすため。
→採点方法、採点基準等は実施前に教室掲示する。
→生徒会賞の評価に加点する。

～図書館開館時間～

朝　：開館しません
昼休み：12:30 ～13:00（月～金）
放課後：～17:50（月～金）
～14:50（土）
～15:00（考査期間中の月～金）

◇広報委員会

【委員長】中島 凜花
【副委員長】井上 悠輝
〈総目標〉**見て知ろう！岩田を！**

1．「Line」の発行
・「Line」は毎月1回発行する。
・執行部や各委員会の活動報告を書く。
・各クラスに教室掲示する。
2．「Saison（セゾン）」の発行
・「Saison（セゾン）」は２カ月に１回発行する。
⇒学園祭などの際には臨時号を発行することもある。
・学校行事や最近の話題など、内容は自由。
・各学年の広報委員に書いてもらう。
・各クラスに教室掲示する。

～広報誌の発行計画～

「Line」２月・３月・４月・５月・６月
７月・９月・10月・11月・12月
「Saison」３月・５月・７月・９月・11月

◇ボランティア委員会

【委員長】福田 陽友
【副委員長】松本 真季
〈総目標〉**やろう、ボランティア。**

1．空き缶の回収
・各学年にアルミ缶、スチール缶回収ボックスを一つずつ設置し、各学年のボランティア委員が、掃除時間に駐車場のゴミ捨て場に持って来る。
2．ボランティア清掃
・美化委員会と協力し、学期に２回、各クラスのボランティア・美化委員を教室掲示による招集で学校周辺地域のゴミ拾いを行う。
・ボランティア清掃実施日が雨等で中止の場合は予備日を設置し、別の日に行う。
3．ペットボトルキャップの回収
・各学年に設置されているペットボトル回収ボックスの横にペットボトルキャップ回収ボックスを設置する。
4．書き損じはがきの回収
・一号館、五号館の一階掲示板前に回収ボックスを設置する。
5．募金
・あしなが学生募金などへの参加を教室掲示、全校朝礼などで呼びかけをする。

1～2月 部活動の報告

特活主任 川元威彦

高校サッカー部

★大分県高校サッカー新人大会

1回戦 岩田 0-3 日出総合

守備重視のﾌｫｰﾒｰｼｮﾝで臨んだこともあって前半は0-0。しかし、ｽｺｱは同点でも試合の主導権は完全に相手でした。緊張もあり、練習してきた通り「ﾊﾟｽを繋ごう」が全く出来ずにすぐにﾎﾞｰﾙを奪われてばかりでした。後半に得点を奪われてからﾌｫｰﾒｰｼｮﾝを変えると少しﾊﾟｽが繋がってきましたが、手薄になった守備が耐えきれずに失点を重ねてしまいました。自分たちの重ねてきた練習の甘さを痛感し、悔しい思いをしましたので、次へと繋げてくれると思います。（顧問：野村）

●中学サッカー部

★大分県中学校サッカー選手権大会

1回戦 岩田 0-1 日田北部

力の差もさほどないように見え、勝てそうな見込みもあったのですが、前半に得点を許してしまい、そのまま逃げ切られてしまいました。好ﾌﾟﾚｰも何度かあったので、今後に繋げていってもらいたいです。（顧問：坂井）

APU・立命館コース 活動報告

APUコース主任 河野智治

●APUコース 大学入学前事前ガイダンス

1月11日(水)、APUコース6年4組生徒対象に大学入学前事前ガイダンスが行われました。APU・立命館大学との高大連携接続コースであるAPUコース生は、提携校の卒業生としてその利点を生かし、両大学において入学時から一般学生をリードして学ぶとともに、さまざまな活動に積極的に参加するなど、アグレッシブに学ぶ学生として活躍していくことが期待されています。

生徒は『（卒業を控えた）高3の3学期』を『大学1年の0学期』として進学準備に取り組んでいます。今回のプログラムは、大学入学時の『基礎学力の定着』，『大学への学びの転換』及び『学生生活のビジョン形成』を目的として実施されました。プログラムの内容は次の通りです。【①立命館職員によるガイダンス「大学進学後に何をするのか」、②本校職員による説明「高3の3学期入学前学習計画」、③本コース卒業生の2名（幸香澄さんAPU，緒方征弘さん立命館）による講話、④ビジョン形成・目標設定への「ワークショップ」】 はじめは緊張していた生徒たちも、卒業生による働きかけのおかげで楽しく真剣に取り組むことができました。

4月から円滑に大学生活のスタートをきるために、入学前から講義の取り方やどんな準備をするべきかを学ぶことができるのは提携校だからこそ可能となる強みです。“なんとなくなりたい自分像”では“なんとなく”でしか頑張れません。“本当になりたい自分像”をしっかり持って一所懸命に頑張ってほしいと思います。“大学でなりたい自分”に少しでも近づけるように、「大学入学後から」ではなく「高校卒業前」から頑張っていきます。

●APU・立命館コース 後期プレゼン大会

1月25日(水)、ＡＰＵにてＡＰＵコース後期プレゼン大会が行われました。事前に自分たちで実際にアンケートをとるなど、前期の文献調査だけでなく社会調査のスキルを身につけることができました。また、全て英語でのプレゼンに挑むなど様々な苦労もありましたが、どのグループも堂々とした発表と工夫を凝らしたプレゼンに大会は大成功をおさめました。2年間の集大成を飾った高校2年生とさらなる飛躍が楽しみな高校1年生のこれからの活躍に期待しています。

「高校1年生の後期は『日本と外国における英語教育の違い』というやや難しいテーマを英語でプレゼンしました。高校1年生にとってはかなり高いハードルでしたが、生徒達は試行錯誤しながらも、無事乗り越えることができました。この1年間、TAから学んだ多面的な考え方やグローバルなものの見方をはじめ専門的な知識やスキルを元に、更に成長してくれることを心から願っています」

（ＡＰＵ講座Ⅰ授業担当：吉本先生）

「いかに自分達の意見を分かりやすく伝えるかということの大切さを、プレゼンを通して学びました。来年度は先輩方のプレゼンをお手本とし、一層の努力を重ねていきます」

（４－４片山さん）

「前後期ともに本番で最高のパフォーマンスを見せてくれました。特に1週間前のリハーサルからの成長が著しかったと思います。共に取り組んでくれた4名のTA（西村さん･杉原さん･ミラさん･安東君）、そして主役の生徒達に心から拍手を贈りたいと思います」

（ＡＰＵ講座Ⅱ授業担当：坂本先生）

「五年生にとっては最後のプレゼン大会でした。慣れない英語でのプレゼンに苦戦しつつも、各グループが全力で挑みました。ここで培ったスキルを将来に生かそうと思います」

（５－４向江さん）

～～～～～～グループ表彰～～～～～～

★高校２年生の部　ＡＰＵ講座Ⅱ

［最優秀賞］

「Toplam」 吉野、藤井愛、薬真寺
伊藤、大杉、ディビッド

［優秀賞］

「 Islam ＝ happiness 」
濵田、岩尾、フレッチャー
楊、大久保、ファビオ

［優良賞］

「Egyjapa لاكا 」
東、ダハラン、向江、古澤
前田、藤井茉

★高校１年生の部　ＡＰＵ講座Ⅰ

［最優秀賞］

「Why Japanese English skills didn’t improve」
安西、古原、渡辺、髙野、畑山、牧坂

［優秀賞］

「Delay of Japan’s English education Compared to Asian countries」
片山、花岡、安東、金成、松尾、花田、楊

［特別審査員賞］

「Difference in English education between Japan and China in APU」
筌口、田實、安村、大多和、福田
桑原

［奨励賞］

「Comparison of educational methods between Japan and Asia」
石川、榎園、川津、新井、辻、山﨑
劉

［奨励賞］

「The Difference of English education between Japan and Korea 」
大久保、橋本、平野、久保田、堀江
吉丸

生徒指導部より

生徒指導主任　阿部順三

交通安全教室を開催しました。

２月１６日（木）　ＪＡＦ 日本自動車連盟 大分支部　田代 芳久氏による交通安全講座を開催しました。生徒指導部では、ＳＮＳネット安全講座と原則交互に開催し注意喚起に努めています。

平成２７年度　自転車事故発生件数は９万８７００件で乗用中の死傷者数が多い年齢は、男女ともに１６歳がピークとされ加害事故の原因は１位 安全不確認，２位 一時不停止，３位 信号無視となっており、特に中高生のルール遵守が求められています。出会い頭での事故原因は前方不注意であり、事故を防ぐためには「危険を予測」できることが大切、「横断道路を渡ろうと思います、この時あなたは何に注意しますか」などの発問をしながら自転車目線と車目線（右左折）で、お互いに死角があることなどプロジェクターを見ながら説明していただきました。 最後に自転車で追突事故による高額賠償事例の話もあり改めて自転車は「車両」であり、交通の弱者である歩行者を守る必要があることなどが再確認できたと思います。

ＪＡＦの御厚意により生徒全員に「それでいいの？自転車運転〇と×パンフレット」と「反射ステッカー」をいただき配布しました。一緒に読んで注意点を確認したり反射ステッカーは自転車や靴のかかと、バッグなどに貼るなど、ご家庭でも交通安全を考える場を設けて頂きたいと思い、「自転車安全利用五則」を掲載します。

自転車安全利用五則

①自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法では自転車は軽車両です。歩道と車道の区別のある道路では、原則として車道を通行しなければなりません。

ただし、「『自転車の歩道通行可』の標識がある場合」、「運転者が13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者、身体の不自由な方の場合」、「車道または交通の状況から見てやむを得ない場合」は歩道を通ることができます。

②車道は左側を通行

自転車は道路の左側に寄って通行しなければなりません。

③歩道は歩行者優先で車道寄りを通行

自転車で歩道を通行する場合、車道寄りの部分を徐行しなければなりません。また、歩行者の通行を妨げるような場合は一時停止するか、自転車を押して歩かなければなりません。

④安全ルールを守る

右に掲載している違反項目をよく読んでしっかり自転車を運転しましょう。

⑤子どもはヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児を自転車に乗せるときは、乗車用ヘルメットをかぶせるように努めなければなりません。

※法とは…道路交通法
※令とは…道路交通法施行細則
※細則とは…大分県道路交通法施行細則

第8回強歩大会を行う ～めざせ体力づくり～

体育科主任　上久保 晃

「強歩大会」は今年で８年目となり、すっかり二月の行事として定着してきた感がします。昨年と同様３限まで授業を受けた後の半日行事で、学校前大分川河川敷をスタートし滝尾橋・弁天大橋下を折り返しゴールという、１周 3.5 ｋｍのコースを男子は３周半、女子は３周で行われました。当初 2/10〔金〕に予定されていましたが、風雪の影響で 2/13〔月〕に延期。当日は天気も良く強歩大会には適したコンディションでした。決められたコースを全力で走り、記録にチャレンジする生徒と、歩いたり走ったりしながら約１０～１２ｋｍという距離を目指す生徒に分かれましたが、強歩大会を通して自分の体力や精神力と向き合う貴重な体験ができたのではないかと思います。これからも自分の体力面・精神面をしっかりと把握し学習や部活動など日頃の学校生活に取り組んでもらいたいと思います。最後に、大会準備や運営に御協力頂いた先生方や体育委員などの生徒、河川敷に応援にお越し頂きました保護者の皆様に心から御礼を申し上げます。

ほけんしつから

養護教諭　野村めぐみ

インフルエンザ・感染性胃腸炎

岩田学園では１月中旬からインフルエンザが大流行し、学級閉鎖になるクラスもありましたが、だいぶ下火になってきました。また、インフルエンザと同時に感染性胃腸炎も流行しましたが、こちらも罹患者はほぼいなくなりました。ですが、まだまだ油断はできません。引き続きご家庭でも予防に御協力頂きますうお願いします。

また、体調がすぐれない場合は無理に登校しないようお願いいたします。

※1/10～2/20のインフルエンザ罹患者数

	男　子	女　子
1年	15	6
2年	25	10
3年	22	13
4年	9	8
5年	7	4
6年	3	2

６の４ＷＹＳＨ

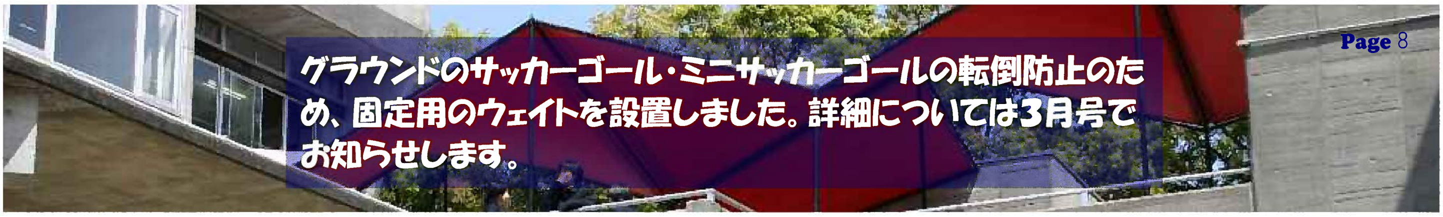
2/27(月)に６の４のＷＹＳＨ授業を実施致します。昨年度実施予定でしたが、日程の調整が出来ず、この時期となりましたことをお詫び申し上げます。大変申し訳ありません。卒業前に性について・自分の生き方について考える良い機会になるのではと思っています。御協力頂きました保護者の皆様ありがとうございました。

３２回生WYSH

３月に３２回生ＷＹＳＨ授業を予定しております。実施後に感想・様子などお伝え致します。

＊WYSH教育とは、京都大学の木原雅子先生がは発案されたもので、「すべての子どもたちが心身ともに健やかに幸せに過ごすことができる社会」を目指すことを目的に行われるプロジェクトです。

手洗い･うがい･マスクの着用を！



APU・立命館コース 留学生の紹介

◆４－４　花田 憬郎さん
「こんにちは、花田憬郎です。ドイツから来ました。日本人ですが、ドイツで生まれ育ったので、日本の生活にあこがれ留学しました。剣道部です。10か月の留学はあっというまでしたが、本当にいろいろ学べて楽しかったです。よろしくお願いします」
※花田さんは１月にドイツに帰国しました

◆４－４　楊 正旭さん
「皆さん、こんにちは。私は台湾から来た留学生です。十五歳です。趣味はバスケットボールです。日本の食物とアニメが大好きだから日本へ来ました。留学に来る前は日本語が全然分かりませんでした。でも留学してから、同級生と友だちがとてもやさしく日本語を教えてくれました。そして今、日本語が話せるようになりました。留学生活を皆と楽しく過ごしたいと思います」、

◆４－４　劉 禎さん
「皆さん、こんにちは。中国から来た劉禎です。趣味はSFとミステリーで、電車にも興味を持っています。日本へ来てから色々経験して楽しかったと思います。皆さんと仲良くして、充実した一年間を送りたいと思います。まだ色んなことを学ばなくてはならなくて、これからも頑張りたいと思います。皆さん、よろしくお願いします」

◆５－４　ロマーニ・ディビッドさん
「みなさん、こんにちは。オーストリアから来ました。私の趣味はスキーとギターです。日本語と日本の文化が好きです。日本語の勉強をするために日本に来ました。将来の夢は物理学者になることです。よろしくお願いします」

◆５－４　ファビオ・コンベルティーニさん
「私はファビオ・コンベルティーニです。イタリアから来ました。十七歳です。今は岩田高校のAPUコースで楽しんでいます。柔道を練習しています。そして日本の文化を毎日学んでいます。日本語は私にとっては難しいけど、努力しています。よろしくお願いします」、

◆５－４　ヘイディ・キースキネンさん
「皆さん、こんにちは！私の名前はヘイディと言います。17歳です。フィンランドから留学に来ました。ところで皆さん「なぜ私が日本に来たのか？」というと日本語をりゅうちょうに話せるようになりたいからです。また日本の文化はフィンランドの文化とまったくちがいます。だから、それを自分じしんの目でたしかめたいと思いました。この留学の経験は私にとってとてもかちのある物です。岩田高校に来て本当にうれしい。それでは皆さん、こののこりの半年もよろしくお願いします」

左から順にキースキネンさん、ディビッドさん、コンベルティーニさん、楊さん、花田さん、劉さん

（写真は昨年の卒業式）

第29回岩田高等学校 卒業証書授与式のご案内

早いもので今年も卒業式の季節となりました。今年は中高一貫校がはじまり27回目の高校卒業式となります。卒業生の保護者の皆さんは、ぜひご臨席下さいますようお願いいたします。

日時：３月１日(水)午前１０時より
場所：本校体育館
（上履きをご持参下さい）

出席者
・卒業生(２９回生)、卒業生の保護者、
・在校生(高２全員、他の学年は各クラスのルーム長・副ルーム長)、教職員

来賓
・立命館アジア太平洋大学、立命館大学
・岩田学園同窓会「樟友会」
・岩田学園保護者会

February 2017

大分市岩田町１－１－１
学校法人岩田学園
電話　097(558)3007
Fax　097(556)8937
Email iwata@iwata.ed.jp

21世紀の有為な人材を育成する
岩田中学校・高等学校